



お正月を迎えて「辰年」

新年あけましておめでと〜うございませ〜う。



辰年の「辰」は、十二支の中で唯一実在しない生き物です。辰年の辰は、竜や龍に置き換えられて、神話でも良く登場してきます。

ちなみに竜(龍)は、中国の神話に出てくる「四神(ししん)」の中で「発展」をもたらしてくれる神獣(青龍)とされています。したがって辰の十二支が回る年は、仕事運や金運に縁の深い1年です。また竜には、天候を左右するほどの強大な力が備

わっているとされています。

辰年(たつし)の性格や特徴

辰年生まれの方は、一見大人しそうに見える人でも、その内面には並々ならぬ生命力を秘めています。

また、辰年生まれの方は、とてもマイペースな人です。でもそれなのに、周りにはいる人たちは不思議と愛されます。飾らない、ありのままの自分をさらけ出すこと、周囲から自然とサポートしてもらえようとするでしょう。

令和6年	年回表
1周忌	令和 05年 (2023)
3回忌	令和 04年 (2022)
7回忌	平成 30年 (2018)
13回忌	平成 24年 (2012)
17回忌	平成 20年 (2008)
23回忌	平成 14年 (2002)
27回忌	平成 10年 (1998)
33回忌	平成 04年 (1992)
37回忌	昭和 63年 (1988)
43回忌	昭和 57年 (1982)
47回忌	昭和 53年 (1978)
50回忌	昭和 50年 (1975)
70回忌	昭和 30年 (1955)
100回忌	大正 14年 (1925)

新春

鳳仙寺住職 坪井良廣

令和六年の新春を仰ぎ、明けましておめでとうございます。新しい年、新しい希望が広がる辰年、日頃よりご参拝いただいたり、心と体のバランスが肝要です。どうか、心の病「三毒(むさぼり・怒り・無知)」に飲み込まれないよう、身心を保って乗り越えましょう！

今年、鳳仙寺創建四百五十年になります。何かしら、ささやかに、お祝いの行事をしたいと考えております。これからの、皆様の力強いご支援とご健勝を祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

第35回「写経の会」のご案内

写経の会開催のご案内です。鳳仙寺では年二回行っている恒例の行事です。開催日である2月15日は、涅槃会(ねはんえ)です。

涅槃会とはお釈迦様が亡くなりになった日です。当日は、涅槃会の法要を行った後に、写経を行う予定です。写仏の手本もいくつか用意してあります。

■日時 令和6年2月15日(木) 13時より
■人数 20名くらい
■参加費 1000円
■持参品 小筆(または、筆ペンでも可・フレンチ)
※写経用紙(半紙)、手本、簡易硯、墨汁は用意いたします。

琵琶演奏会が開催されました

10月27日(金)常磐殿にて「琵琶演奏会・十三夜に琵琶の調べ」が開催されました。演者は、薩摩琵琶全国一水会高崎支部に所属のフライヤー

三名の方に演奏をしていただきました。静かな常磐殿に、琵琶の音色が響き渡り素敵な十三夜となりました。



琵琶の演奏の様子

無料・琵琶演奏会

十三夜に琵琶の調べ

演奏者 「薩摩系、山家灯家、遠藤雄次」

(遠藤雄次氏一衣会高崎支部)

日時 令和5年10月27日(金)開演午後5時

場所 桐生山鳳仙寺(梅田町1丁目)

主催 みんなで琵琶を楽しもう会

13時10分 涅槃会法要(お釈迦様の命日)
13時40分 写経
15時00分頃 解散

※締め切り 2月14日(水)まで
※参加ご希望の方は、電話かFAXにてお申し込みください。

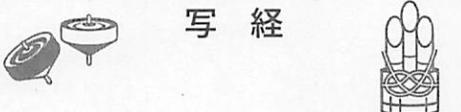
◆お申し込み・お問い合わせは、お寺まで
電話 0277(32)1177
FAX 0277(40)6000

賀正

- 世話人
- 板倉秀夫 小林鶴寛 廣神重子
 - 岩崎親道 五味田博 平方佳介
 - 梅澤 誠 清水 洋 前原美佐保
 - 金居成浩 中村カツ子 茂木邦武
 - 金丸由太郎 館 盛浩 吉田節子
 - 金子宗吉 堤 和由 (あいさつ委員)
 - 小池和貴 根岸一二
 - 小林詔一 羽田野孝宗

- 担任 坪井 良廣
- 副担任 坪井 良樹
- 羊頭総代 石原 竹雄
- 総代 内野 正章

佛説阿耨多羅三藐三菩提心經
觀自在菩薩行深般若波羅蜜多時見五
色色即是空即非色空想行微細如
是舍利子諸法空相不生不滅不垢不淨
不增不減是故空中無色無受想行微細
耳鼻舌身意無色無香味法無眼界乃至
無意識界無明亦無意識智亦無得以此
所得般若波羅蜜多依般若波羅蜜多故
得阿耨多羅三藐三菩提世尊佛告諸
善男子大神呪是大明呪是無上呪是無等等
呪能除一切苦惱實不虛說說般若波羅蜜
多呪即說呪曰
囉囉囉囉 波羅囉囉 波羅囉囉
囉囉囉囉 波羅囉囉 波羅囉囉
般若心經



写経

『除夜の鐘』を撞いて 今年の厄払いをしましよー!

ご祈祷は、1時間間隔で受け付けております。

除夜の鐘

12月31日は、毎年恒例の「除夜の鐘」を行います。撞き始めは11時30分頃を予定しています。古いお札や縁起物・お守りは、境内にてお炊き上げをいたしますのでこの機会にご持参ください。また、本堂では新春のご祈祷、破魔矢、お守りなど縁起物の頒布をおこなっています。

元旦0時から本堂にて本年の厄を消除する、

除夜の鐘

年始めのご祈祷であります。「元朝大祈祷(がんちようだいきとう)」を行います。

ご家族の方、ご近所の方をお誘い合わせのうえ、ぜひともご参詣ください。

○寒いので、暖かい服装でお出かけ下さい。

○参道は、暗いので徐行をしながらお車の運転にご協力をお願いします。

新春厄除・祈祷

元旦より3日まで毎日、新春のご祈祷を行っています。時間は、朝9時



除夜の鐘
開運 厄除け 祈祷
1月1日から3日まで

半〜午後4時頃まで。一時間おきに随時申し込みができます。年の初めに、厄を払い素晴らしい一年のスタートと成りますようご祈願をお勧めしております。

主な願目は、厄除開運、大願成就、方位消除、福徳開運、家門繁栄、善星皆来、悪星退散、家内安全、商売繁盛、社運隆昌、交通安全、諸病平癒、無病息災、安産祈願、合格祈願、諸願成就などです。

尚、電話やFAX、インターネットによる事前申し込みもできます。また、期間中に来山出来ない方はお札の郵送もいたしますのでお問い合わせください。

●鳳仙寺ホームページ桐生山で検索

ご祈祷参加について
1、祈祷に参加出来るのは、ご祈祷を受けるご本人のみとさせていただきます。(介助者が必ず必要な方は同伴可)

2、ご祈祷札一枚につき、一名のみの参加とさせていただきます。(大札は除く)

3、11時〜14時は大変混み合いますので、分散参拝をお勧め致します。

4、本堂は冷えますので暖かい服装でお越しください。
※皆様には大変お不便をお掛け致しますが、ご理解・ご協力をよろしくお願い致します。

広報きりゅう 9月号

広報きりゅう

9月号の裏表紙に鳳仙寺に眠る武将「由良成繁」の妻、「妙印尼」の「みょういんに」の記事が掲載されました。詳しくは、こちら↓



市史館さんより 第9回
「母は強し」戦国時代の女性像
―由良成繁の妻、妙印尼―
青木 裕美

御詠歌とまなびと笑顔

10月19日(木) 前橋市の昌賢学園まなびしホールにて、曹洞宗群馬県宗務所主催の梅花流群馬県奉詠大会65周年記念公演「御詠歌とまなびと笑顔」が開催されました。県内御寺院に所属の講員さんをはじめ鳳仙寺梅花講員さんによるご詠歌の奉詠、精進料理教室も



三遊亭王楽さんと



落語の様子

三遊亭王楽さんは、三遊亭王楽さん

によるご法話、三遊亭王楽さんによる落語が開催されました。落語をしていただいた三遊亭王楽さんとも久しぶりに再会しました。とても気さくな方で、素晴らしい落語でした。

令和6年 厄年表

前厄	本厄	後厄
男		
60歳 昭和40年生	61歳 昭和39年生	62歳 昭和38年生
41歳 昭和59年生	42歳 昭和58年生	43歳 昭和57年生
24歳 平成13年	25歳 平成12年	26歳 平成11年
女		
60歳 昭和40年生	61歳 昭和39年生	62歳 昭和38年生
36歳 平成元年生	37歳 昭和63年生	38歳 昭和62年生
32歳 平成5年生	33歳 平成4年生	34歳 平成3年生
18歳 平成19年	19歳 平成18年	20歳 平成17年

尚、この表は満年齢に一歳加えた数え歳です。

ぐんま御朱印さんぽ

9月28日に群馬テレビ内の三ッ番組ぐんま御朱印さんぽに鳳仙寺が取り上げられました。群馬テレビのアナウンサーの小此木佑香さんの企画です。とても丁寧なお寺の



本堂にて



山門にて

歴史や御朱印を取り上げていただきました。YouTubeにアップされていますのでQRコードで見てくださいね。

【お知らせ】

①鹿が発生して、お花を食べています。

近年、お墓参りをしたお花が切り取られている被害が発生しています。これは、鹿がエサ不足によりお

墓にやってくるお花を食べているようです。何時現れて、去っていくのかは不明です。対処する方法は今のところ無い状態です。ご迷惑をおかけすることもありますがご承知ください。

②卒塔婆の値上げのお願い。

お塔婆をこれまで、1本3千円のお布施をお願いしていましたが、今後は、1本5千円のお布施にてお願い致します。

数年前より塔婆の価格が上昇しており、塔婆の長さを30cm短くして対応して参りましたが、近年の物価高や木材不足により、塔婆の価格が高騰しており、塔婆業者も材料の仕入れに苦戦しているとのことです。何卒ご理解とご協力の程お願い申し上げます。